

出前授業・模擬選挙	模擬議会・議員との交流
地方公共団体主体	他の機関(税務署)と連携
小学生等	中学生

若者議会・こども議会	座談会等
高校生	大学生・短大生・高専生

大学・若者グループ等との交流	特別支援学校生
----------------	---------

【参考】 学校・民間団体が主体の取組	若者層 (10~20代)
-----------------------	-----------------

⑭仙台市（宮城県）（人口1,067,486人）※令和5年1月1日現在

若者と議員の交流会「Voters Cafe in 仙台」

■取組の概要

- 仙台市に関わりのある10代・20代の若者と、市議会議員が集まり、交流会を実施。
- 交流会は、議員トークセッションやワールドカフェ方式で若者と議員の意見交換を実施。



実施概要

実施年度	平成29年度、平成30年度、令和4年度 ※原則選挙のない年に実施。令和2年度は新型コロナの影響で中止。
対象者	仙台市に関わりのある若者（10代・20代）
参加者数	若者37名（10代：20名・20代：17名）・市議7名（令和4年度）
事業規模（予算）	321,904円（業務委託費、チラシ作成、郵送料、会場使用料等）（令和4年度）

■実施の経緯

<取組を開始するに至った経緯>

- 平成28年7月の参院選より選挙権年齢が18歳に引き下げられたことから、当時の選管において「若者の投票率向上のためには議員の仕事を知り政治に興味を持つことが重要」、そのための方策として議員交流会の実施が必要であるとの結論に達し、準備を進めて、平成29年11月に実施に至った。

■実施の体制

<庁内の実施体制>

事務局長：議会事務局との調整

選挙課長：マスコミ対応、議会事務局との調整、庁内他課との調整

管理係長：業務総括

啓発担当（主・副）：委託事業者対応、参加者募集、会場申込等

<外部との連携>

- NPO法人に交流会の企画・運営を業務委託。

■取組の効果・成果

- 参加者アンケートでは、若者・議員どちらからも概ね好評を得ている。「政治への関心が深まった」、「異なる世代や立場の人と交流できて、新たな気付きを得ることができた」、「今後も選挙に行ったり議員と話してみたい」といった感想が多く、今後の仙台市における主権者意識の向上への可能性が感じられた。



<これから取組を始める団体へのメッセージ>

若者が議員と直接ざっくばらんに話す機会は、とてもよい取組だと思いますが、なかなか実施しているケースがありません。議会事務局や教育委員会、外部団体とも連携しながら取り組むと、続けやすく広げやすくなると思います！

★より詳しい情報はこちらへ

【Voters Cafe in 仙台（若者と議員の交流会）】

<https://www.city.sendai.jp/senkyokanri-kanri/event/voterscafeinsendai.html>



■取組のステップとポイント

① 事前準備

【4～5月】起案・関係各局への説明・連絡

- ・開催日検討、委託業者へ打診、会場の先行予約、開催起案。
- ・議会、教育局へ説明・連絡。

【6～7月】委託契約・打合せ、企画案の確定

- ・業務委託契約、委託業者との打合せ。
- ・企画案の精査・確定、委託業者へチラシ作成依頼。

【8～9月】チラシ発送、会場打合せ

- ・市政だより掲載依頼、参加議員の推薦依頼、チラシの発注・発送作業。
- ・会場打合せ・レイアウト確定。

【10～11月】若者参加者募集、タイムテーブル作成

- ・若者の参加者募集、タイムテーブルの作成・確定。
- ・参加議員への説明、依頼。傷害保険への加入。

【実施2週間～3日前】最終準備

- ・記者発表、参加者への連絡、消耗品購入、司会の読み原稿作成、各種資料作成・印刷。
- ・トラブル時の対応確認。

<当日の流れ> ※例年11月に開催

- 1 開会あいさつ
- 2 アイスブレイク
グループでクイズにチャレンジ。
- 3 議員トークセッション
議員になったきっかけ等議員の話を聞く。
- 4 ワールドカフェ
1グループにつき議員1人・若者3人程度。
日常の嬉しいことや若者の力が生きる社会にするためにできること等についてメンバーを変えながら意見交換。
- 5 まとめ
感想を付せんに書き全員で共有。

② 取組実施

【～1か月後】報告書の作成等

- ・お礼状の作成・送付、実施報告書作成・アンケート集計、ホームページへの掲載、委託料等の支払い。

③ 実施後

【ポイント】

- ・委託業者（NPO）と役割分担をすることで、効果的・効率的な取組に。
委託業者：イベントの企画・運営や当日の進行
選管：募集、議員調整、場所の確保、チラシの印刷

【ポイント】

- ・議員の出席調整は議会事務局に依頼し、偏りのないように各会派から1名ずつ出席してもらうようにしている。
- ・円滑な事業進行となるよう、参加議員に事前に説明を行うとともに、「質問への回答票」の提出を依頼。

【ポイント】

- ・委託事業者が作成するスライド資料は、事前に目を通し、事業趣旨や事実と合っているか確認。

【ポイント】

- ・各グループの人員は、男女や学校、年齢をなるべく均等に配置。
- ・写真撮影の可否を受付にて確認。
NGの人がすぐにわかるように名札を工夫。



アイスブレイクの様子



ワールドカフェの様子

【ポイント】

- ・ホームページへの掲載は、議員の発言が特定されたり、選挙運動と誤認されないように注意が必要。
- ・委託業者と振り返り会を実施し、今後の啓発事業全体も視野に入れた意見交換を実施。